

【キーワード】
伝統文化の
継承



神石高原町神石協働支援センター 郷土料理本 「残しておきたいおふくろの味」 続編完成！！

～いきいきふれあい教室の活動～

少子高齢化が進む中、伝統文化を継承するために「食文化」に着目し、平成24年に郷土料理本を発行しました。そこに載せきれなかった郷土料理について、続編を完成させ、学校や商業施設に配布し、普及活動を行っています。

実施日：平成26年度（14回、延べ119人、約50品）
平成27年度（18回、延べ148人、約60品）
平成28年度（21回、延べ108人、約30品）
平成28年度後半資料の整理、料理等の手直し
平成29年度出版社との調整・校正

参加者：いきいきふれあい教室会員6名

つどう

高齢化に伴い、会員数が減少する中で、郷土料理本の続編を完成させるという目標を掲げ、集う場を設定しました。また、月毎に開催日を決めることで、会員が参加しやすいようにしました。

まなぶ



調理法の不明な料理もあり、会員同士で試行錯誤しながらレシピを作成しました。長年の知恵や工夫により、身近な食材を利用して、多種多様な郷土料理が作られていることが認識できました。また、料理だけでなく関連する行事や道具等も調べました。

むすぶ

保育所、小・中学校、高等学校等と連携し、ゲストティーチャーとして味噌作りの指導をしたり、協働支援センターでは地域の子供たちを対象にクッキング教室を実施し食事の大切さを伝えたりするなど、学校や地域と繋がりを深める活動になっています。